令和７年度　「学校評価結果報告」

春日出幼稚園

当園ではこの度、令和７年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。
また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

Ⅰ．教育目標

「心素直に強い身体」を園訓として、一人ひとりの子ども達の心と身体に秘められた可能性が健やかに育まれることを願いとしています。
「一生懸命、思いやる、創る」という３つの心が一人ひとりの子ども達の内に抱かれ、やがて来る未来に応えていく土台が育まれることを目的として、一人ひとりの自主性と、お友達との交流を大切にした保育を実践します。

Ⅱ．今年度の重点目標

●姉妹園と連携した取り組みの充実　●災害対策の強化　●安全管理体制の充実
●保護者への情報発信の充実　●未就園児親子との交流

Ⅲ．評価項目と取組み状況

1	姉妹園との連携した取り組みの充実	お互いの園児同士・職員同士が交流できるように合同で遊ぶ機会を設ける。遊んだ後に子どもたちの感想を収集し、担当の職員が取りまとめ	B	園児同士の交流は予定していたが、インフルエンザの流行などで作品展の見せ合いができなかったので今後は検討する。園児同士が交流を持って関わり合うのも重要

		て今後のさらなる交流と連携に活かしていく。		ではあるが、行き来が難しい場合は絵本・紙芝居の貸し借りや保育の進め方・設定保育の内容を共有するなど、姉妹園特有の強みを生かす。
2	安全管理体制の充実	毎日の施設、設備、遊具等の安全点検に加えて、定期的（学期ごと等）な総点検の仕組みの導入を検討する。点検項目を設定してチェックリストの作成を検討するとともに、定期的に安全チェックを行うことで、施設・設備が原因となる事故を未然に防止し、より安全な保育環境を目指す。	A	設備・遊具だけでなく保育室等、異常を感じたら主任に報告するように徹底している。現状はチェックリストが未整備であるため、作成することで全員が同じレベルで点検できるように検討する。　雨上がりの戸外遊びでは遊具が濡れているため滑らないように配慮するなど、安全に対する意識を点検時だけでなく日常的に高める。
3	保護者への情報発信の充実	行事予定や長期休暇中の預かり保育の日程などについて、できるだけ早くご家庭に情報発信できる体制を整える。保護者からの意見や要望を把握できるように、日々コミュニケーションをとり、信頼関係の構築に努める。アンケート結果を検討し、保護者の意見・要望の把握と改善に取り組む。	A	新学期・学期末に個人懇談を行い、園での様子を伝えた。気になることがあればすぐに電話で保護者に伝えるようにした。　手紙などで行事や長期休暇中の預かり保育の日程などお知らせしている。　アンケートは現状、卒園生と新入園児のみ行っているが、項目や記述欄に関しては見直す。非常時のメール発信に関しても検討する。
4	未就園児親子との交流	令和 6 年度に引き続き地域の未就園児親子が参加できるイベントを積極的に開催する。また、入園決定後に交流できる機会や。見学会の内容の見直しを検討する。	S	見学会を定期的に開催することで園のことを知ってもらう機会を多くし、入園決定後に体験会を開催することで保護者の心配を払しょくできるように取り組んだ。そういった取り組みの中で、参加された保護者から問い合わせがあった場合、教職員がすぐに答えられるなど、園を信頼してもらえるために何をすればいいのかを検討する。
5	人材育成	新入職員への教育体制を整え、人材の育成・定着を図る。そのためにも相談しやすい環境、フォローし合える体制を整え、園として教育レベルの向上に努める。	A	保育のことなど、分からないことがあれば聞けるように、相談しやすい環境を整えている。その日その日でどうだったかを確認し、その場ですぐに解決できるようコミュニケーションを多くとるように心がけた。勤続年数に応じた研修の実施を検討し、教職員のレベル向上の機会をもうける。

【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である

Ⅳ．今後取り組むべき課題

1	姉妹園との連携した取り組みの充実	実際に園児の行き来が難しければ絵本や紙芝居の貸し借りや、情報交換に取り組む。
2	安全管理体制の充実	チェックリスト・マニュアルの作成を検討し、園環境の安全性の向上を目指す。
3	保護者への情報発信の充実	保護者の要望を把握する仕組み（保護者アンケート等）を検討し、園の実情を把握する。
4	人材育成	年齢に応じた研修の実施や、先輩職員の保育や同学年同士の保育が見られる機会を検討する。
5	未就園児親子との交流	入園が決定する前後において幼稚園のことを知ってもらえる取り組みやカリキュラムを検討する。

Ⅴ．学校関係者の評価

どの目標に関しても努力が見られる。

小学校や地域との連携をもっと密にして、安全教育をするべきだと思う。

今後もより良い幼児教育を期待している。

＜PTA 会長＞

幼稚園の教育運営において細部に渡ってよく検討し、取り組んでいる。

保護者や園児とのコミュニケーションも充分取れているため、園での様子が把握できる。

先生方が教育目標をしっかりと意識し、日々の教育に取り組んでいることが分かる。

＜PTA 副会長＞

職員の方が個々を大切にし、理解に努め、生かそうとしていることが保育から伝わってきます。
園での子どもの様子や健康状態をしっかりと見て保護者に伝えてくれています。
先生も子どもたちも笑顔が良く、担任以外の先生も子どもの事を把握していて、元気で明るい幼稚園です。

＜PTA 副会長＞

以上